

- 都市模型とバーチャルリアリティを活用した景観まちづくり (P.1)
- まちづくり支援制度の見直しについて (P.2)
- 有馬温泉の景観① (P.3)
- 平成21年度コンサルタント派遣成果報告会 ほか (P.4)

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

## ～こうべまちづくり会館に都市模型登場～

# 都市模型とバーチャルリアリティを活用した景観まちづくり

都市模型



神戸は美しい港、緑豊かな六甲山という恵まれた自然を背景に、海・坂・山の変化に富んだ、明るく開放的で異国情緒豊かなまちなみを形成しており、その魅力ある都市景観は内外から高く評価されています。

神戸市では、神戸のすばらしい資源や魅力を、デザインの視点で見つめなおし磨きをかけて、魅力と活力をつくり出し、市民のくらしの豊かさを創造する「デザイン都市・神戸」を推進しており、その一環として、この神戸らしい魅力ある景観をまもり、そだて、つくるために、市民との協働と参画による景観まちづくりに取り組んでいます。

そのためには「わがまち」への関心や愛着のもとに、地域の個性を活かした市民主体の景観形成の取り組みをさらに進めていくことが大切です。

そこで、市民の方々に「神戸のまち」をもっとよく知っていただき、関心を持っていただくために①都心部の東西 2.4km、南北 4.8km の部分の1/1000 都市模型(横 2.4m 縦 4.8m)と②フラワーロードや中央幹線、鯉川筋などの沿道のコンピュータグラフィックスによるバーチャルリアリティ(仮想都市空間)を制作しました。実際に存在しない広告物、建物を自由に設置でき、景観がどのように変化するかをイメージすることができます。



バーチャルリアリティ(大丸前から隣(いかり)山を望む)

都市模型については、現在、旧居留地周辺以外の部分は未完成ですが、今後、市民の方々とともにワークショップなどによって他の地区を作っていきたいと考えています。また、小中学校と連携して、親子で「わがまち」の模型を一緒に作っていただくことで、市民の方々が自分たちのまちを見つめなおし、デザインの視点で磨きをかける取り組みにつなげていきたいと思います。

また、民間事業者などによる大規模建築物の計画に対して、今回制作した都市模型やバーチャルリアリティを活用した景観シミュレーションによって、さらに広い視点から、より魅力のあるまちなみのデザインを誘導していきたいと考えています。

この都市模型とバーチャルリアリティの映像は、こうべまちづくり会館1階に展示しています。ぜひご見いただき、神戸のまちを見つめなおすきっかけにいただければと思います。

(都市計画総局まちのデザイン室)

## WS研究会 定例会100回記念 大ワークショップ

日時:6/26(土) 10:00~17:30 場所:こうべまちづくり会館2階ホール 主催:神戸まちづくりワークショップ研究会  
詳しくは <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/7special/event.htm> まで

# まちづくり支援制度の見直しについて

神戸市では、昭和 56 年に、「神戸市地区計画及びまちづくり協定等に関する条例」を制定して以降、まちづくり協議会による、住環境の保全などの住み良いまちづくりへの取り組みを支援してきました。

まちづくり支援制度には、まちづくり協議会の活動費の一部を助成する「まちづくり助成」と、その活動に対して専門的なアドバイスを行う専門家を派遣する「まちづくり専門家派遣」があります。

現在、地域のみなさんが取り組まれている『まちづくり』活動は、地域の課題が多様化する中で、住環境の保全や改善から、美緑花活動、防犯、防災、福祉のまちづくりなど、多様な活動へと広がりをみせていま

す。

そこで、住環境の保全などの『空間づくり』への支援であることを明確にするなど、まちづくり支援制度の効果的・効率的な運用の見直しを行っています。

運用の見直しにあたっては、支援制度をわかりやすく解説した手引きを作成し、まちづくり協議会などを対象とした説明会を開催し、地域と意見交換を行ってきました。

今後、地域のまちづくり活動の多様化に対応した総合的なまちづくり支援のあり方についても、地域のみなさんとも意見交換しながら検討していきたいと考えています。

## 「まちづくり支援制度」の見直しのポイント

### ①「まちづくり支援制度」の支援対象

『空間づくり』のまちづくりに取り組む活動を支援します。

『空間』とは・・・

みなさんの生活の場である 道路や公園、建物などで形成される まち全体のことです。



『空間づくり』とは・・・

空間の保全や改善に向けて、地域の課題や魅力を把握し、まちの将来像をつくり、その将来像を実現するために、空間のルールづくりやものづくりを進める取り組みの事です。



### ②「まちづくり助成」のポイント

まちづくり助成は、「空間づくり」に取り組む団体に対して、会議の開催やニュースの発行などの活動費の一部を助成する制度です。

#### ●「基幹活動」と「提案活動」を設けます

助成対象に、会議開催やニュース発行等の「基幹活動」と、基幹活動を効果的に行うため、地域から提案される「提案活動」を設けます。

#### ●活動段階に応じて 助成限度額 と 助成期間 を設けます

活動の初動期、まちづくり構想やルールなどの策定、ルール運用などの段階に応じて、助成限度額と助成期間を設けます。

### ③「まちづくり専門家派遣」のポイント

まちづくり専門家派遣は、「空間づくり」に取り組む際、ルール等の策定を支援するため、まちづくりの専門家を派遣する制度です。

#### ●専門家の役割を明確にします

まちづくり専門家派遣は、建築や都市計画などの専門的・技術的な支援を行うものです。

#### ●活動段階に応じて 専門家を派遣します

まちづくり構想やルールの策定などの段階に応じて、専門家を派遣します。

(都市計画総局地域支援室)

# 有馬温泉の景観①

## 空間像研究会の活動 その14

建築家 森崎 輝行（空間像研究会）

神代の昔、大己貴命おほなむちのみことと少彦名命すく彦(ひ)こ 名のみことが、三羽の傷ついた鳥が沸き出す泉で傷を癒しているのを見つけたのが有馬温泉の始まりと伝えられています。有馬温泉が広く知られるようになったのは、奈良時代ぎやうきに行基が温泉寺を建立し、鎌倉時代には仁西上人にんさいしやうにんが十二の宿坊を建てたからと伝えられています。また、有馬温泉の名を全国に広めたのが有馬の地を大変気に入った太閤秀吉と言われています。江戸時代には、温泉の効能により全国でも評判の高い湯治場となりました。

さて、今回から2回にわたり、「有馬」の空間を、景観という切り口で述べてみたいと思います。

「有馬」は、山深い温泉地で神戸の奥座敷とも呼ばれています。現在は、都心から15分という距離なのですが、以前は相当時間もかかったようです。それ故、有馬の景観、自然も保持されてきたのかも知れません。しかし、開発が少しずつ進行し、それらが浸食されつつありました。「これではいけない」ということで、この10年、より「有馬らしく」を旗印に、景観がテーマのまちづくりが活発化し、現在は、「有馬らしい景観」を取り戻しつつあります。

しかし過去にも、有馬は幾度も存亡の危機にひんしたことがあります。そのたびに有馬を救ったといわれる人を、有馬では3恩人(行基上人・仁西上人・豊臣秀吉)と呼んでいます。実質的にまちづくり(再建・修復・復興)を行ったのは、当然「地元有馬の住民」でした。住民自らが行ったという点では、りっぱな「まちづくり」が過去から行われていたということになります。また、恩人といわれた来訪者たちも、有馬の温泉とともに景観を愛したのは言うまでもありません。



「有馬六景」という言葉があります。この「有馬六景」も、有馬が危機に直面した際に生まれました。それは「地元有馬の住民」の写生をもとに高僧が絵を描いたものに近衛氏以下の公家が和歌や詩を添えて、1770年(明和7年)に出来上がったと伝えられています。このような努力の甲斐があって、有馬の街は再び元の賑やかさを取り戻したと言われています。「有馬六景」は「自然と人」がおりなす「ひだ」のようなものなのです。「有馬」を語るのにこれほどうまく表現されているものは他にありません。脈々と流れているのは、「情と風」です。人と自然の見事なまでの調和なのです。永い時

間をかけて培われた自然や折々の四季と人間の感性とのふれあいの空間が有馬の景観です。

「有馬六景」は、1) 鼓ヶ滝、2) 有明桜、3) 功地山の秋の月、4) 落葉山、5) 温泉寺の晩鐘、6) 有馬富士、の「有馬」の季節を代表する六つの景観です。

最初は、有馬の真南に位置する『鼓ヶ滝』です。滝川(下流は六甲川と有馬の街の中心部で合流し有馬川になる)の上流にあり、滝山の中腹から上下2段になって落下し、1段目の滝壺に落ちる水音が、囲まれた山々に響いてボンボンと鼓を打つ音に似ていることから「鼓ヶ滝」の名がついたそうです。今では過去の洪水によって岩が崩れて形が変わってしまい、鼓のような音色を聞くことはできません。空間を支配しているのは、木立の静寂な空間に「見える」滝の姿とその「音」だったようです。近衛摂政太政大臣内前公が【山まつの あらしになおもひびくかな つづみがたきの 水のしらべは】と添えています。どうも静寂な冬から春にかけての季節の代表のように感じます。



次に挙げられているのは、『有明桜』です。有馬の桜は、摂津のなかで少し遅く開花します。一斉に開花し、冬から春に明ける「有明」を感じます。風情を膚で感じる「触」感の出来事です。西行法師は、【花にとはいざ白雲の 山のはに 有明さくら 盛り成る頃】と詠っています。地元では、現在の湯本坂の下りきった突き当たりにある「善福寺の桜」がそのいわれともいわれています。ここの桜は有馬の中でも特に早く咲き見事な景観をつくっています。この他にも念仏寺(秀吉の本妻「ねね」のお茶室があることで有名)のしだれ桜は、有馬の春最後の桜として見事な季節感を漂わせています。現在、地元では、「有馬桜」に鑑み、有馬川の沿岸では、桜の植林が盛んに行われています。

(続く)

# 平成21年度 コンサルタント派遣成果報告会開催 ～各派遣地区からの報告～

まちづくり会館では、「まちづくり協議会」等に対して、専門家を派遣し、まちづくりの技術的・専門的な支援を行っています。この制度により、平成21年度に派遣された専門家(まちづくりコンサルタント)が、各地区の活動状況や自身の果たした役割などについて発表する「コンサルタント派遣成果報告会」が、5月13日、まちづくり会館で開催されました。報告会では、事前に発表者の方から寄せられた質問や会場からの質問をもとにして、活発な意見交換が行われました。その中で、「地域全体を巻き込んだ持続的な運動の展開」を図っていくためには、若い世代がまちづくりに参加するきっかけづくりの手法、まちづくりイベントを通じた地域づくりや地域力の底上げ、学生のまちづくりイベント等への運営参加による将来のまちづくり、ニュースの定期発行などの地道な活動の積み重ねの大切さなどについてのご意見がありました。また、報告会には、まちづくり関係者や、学生など多くの方が参加され、専門家の発表、議論に熱心に耳を傾けていました。



## まちづくり会館 展示のお知らせ

### 1階オープンギャラリーの予定

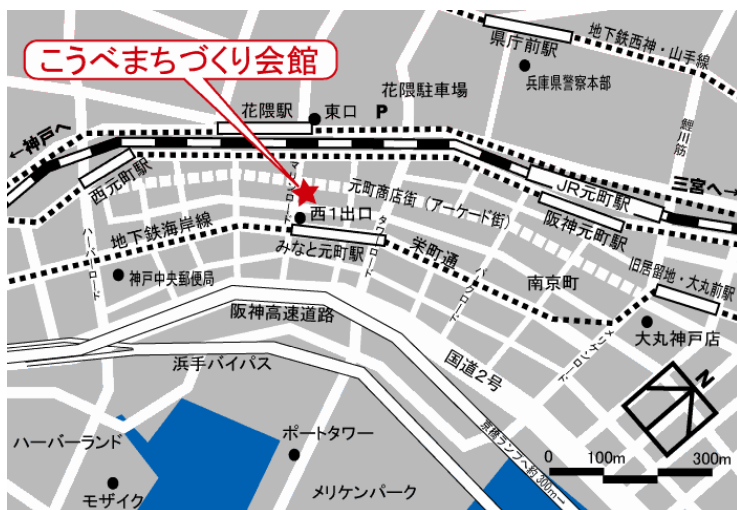
期 間	テーマ・内容	主 催 者
5/27(木) ～ 6/8(火)	神出地域パネル展	神戸市西区役所
6/10(木) ～ 6/29(火)	土砂災害防止月間パネル展	神戸市建設局
7/1(木) ～ 7/13(火)	兵庫運河を彩るイベントの数々	神戸市兵庫区役所
7/15(木) ～ 7/27(火)	守ろう！神戸の生物多様性	神戸市環境局
7/29(木) ～ 8/10(火)	みちの学校・交通安全総点検	神戸市建設局

※展示期間が変更になる場合があります。

### 地階ギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
5/28(金) ～ 6/1(火)	丹水会展	丹水会
6/3(木) ～ 6/8(火)	神戸パステル画会 (KP展)	神戸パステル画会
6/10(木) ～ 6/15(火)	第7回 そらいろの会 絵画展	そらいろの会
6/18(木) ～ 6/22(火)	第10回 眞率会 (日本画) 展	眞率会
6/25(木) ～ 6/29(火)	風の会 作品展	風の会
7/2(金) ～ 7/6(火)	アルペジオ・合同教室 作品展	アートフォーラム アルペジオ
7/9(金) ～ 7/11(日)	第5回 神戸群玉会 書展	神戸群玉書道会
7/15(木) ～ 7/20(火)	(仮) こうべのまちなみ展	こうべまちづくり会館
7/23(金) ～ 7/27(火)	のむら・アート・るーむ 作品展 2010	のむら・アート・るーむ
7/29(木) ～ 8/3(火)	第30回 三滴会書道展	三滴会

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



### こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分～午後6時（水曜日休館）  
場 所：元町商店街4丁目西端の南側角  
地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分  
神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分  
「西元町」東口から東へ5分  
JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分  
〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14  
電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546  
ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

### コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談  
受付：午前9時30分～午後5時30分（水曜日休館）  
ただし、印刷は5時まで  
電話・FAX：078-361-4565

4月から、まちづくり会館の開館時間が午前9時30分となりました！